

議会議員研修報告書

議員名

岡崎 英和

期 間	出張先
令和 4年 5月 9日から 令和 4年 5月 10日まで 計 2日間	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員中央研修所 <input type="checkbox"/> 全国市町村国際文化研修所
研 修 テ ー マ	
令和 4 年度 市町村議会議員特別セミナー①	
報 告 大 要	
1. 研修日程及び講師	
第 1 日目 5 月 9 日	13:30~15:00 ①「地域経済の行方と地方再生」
	経済ジャーナリスト、大正大学表現学部客員教授 渋谷和宏
	15:15~16:45 ②「アフターコロナと SDGs のまちづくり」
	株式会社ローカルファースト研究所代表取締役 関 幸子
第 2 日目 5 月 10 日	9:00~10:30 ③「地方議会改革の到達点と課題」
	大正大学社会共生学部公共政策学科教授 江藤 俊昭
	10:45~12:15 ④「『共存』から『共生』へ — 外国人住民を交えた地域づくり」
	芝園団地自治会事務局長 岡崎 広樹
2. 研修内容要旨	
① 現在の経済形成における根本構成を詳細に分析、移り変わる「ニーズ」をどう解釈出来るか。	
② コロナ禍後の社会変化とは。ポイントは、価値観の多様性とデジタル化への加速スピード。	
③ 地方議会の作動とは、住民自治の根幹。議決無ければ、執行は存在しない。	
④ 「共存」？「共生」？多文化共生の難しさ、隣近所とのつながり。	

3. 感想、今後の議員活動への活用など

②の中で、SDGs を難しくとらえすぎてはいないか？ 東北の漁師が豊かな漁場形成のために、流れ込む河川の上流域での植林作業は、すでに SDGs の実践である。確かに。

③江藤節の表現ながら、ポイントは的確に指摘。但し今回の講演内容からすれば、議員よりも市町村長などの首長や幹部職員へ向けた、国県からの各種政策における理解活用の提言内容の色濃し。

私にとって、今回最も意義が有ったと思われるのが①。ファストフード店舗におけるコーヒー需要の減少や、スターバックス店舗数の減といった実情な現在。コマダ珈琲が店舗数を順調に伸ばしているのは何故か。キーポイントは経済消費人口における「団塊の世代」が占める割り合い。ある程度の財力と時間に余裕を持った層が求めているのは、ロープライスでも無く、セルフ方式でも無く、キッチンと接客してくれる、昔ながらの落ち着いた「喫茶店」。空間と時間も『対価』の対象と考えれば、コーヒー一杯の値段が 500 円だとしても、決して高い価格とは言えない。顧客満足度をどれだけ理解し捉えるかが、成長ビジネスの着眼点だ。行政運営にも同じ事が言える。町民ニーズの理解力を高めなければ。